

× 整理番号	
× 審査結果	
× 受理年月日	年 月 日
× 登録番号	

山口県  
収入証紙  
はり付け欄  
(消印を  
しないこと)

## 砂利採取（洗浄）計画認可申請書

年 月 日

山口県知事様

住所  
氏名又は名称及び  
法人にあつては、  
その代表者の氏名  
電話番号  
登録年月日  
登録番号

郵便番号  
年 月 日  
山口県砂利登録第 号

砂利採取法第16条の規定により、次のとおり採取（洗浄）計画の認可を申請します。

### 1 砂利採取（洗浄）場の区域

所在地 <代表地番を記入のこと>	採取（洗浄）場 全体の実測面積
市・町 番 外 筆 (明細は別添使用土地目録のとおり)	m <sup>2</sup>

### 2 採取（洗浄）をする砂利の種類及び数量

採取（洗浄）総量	内 訳			表土・その他
	砂	砂利	玉石	
m <sup>3</sup> ( m <sup>3</sup> /月)	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
洗浄砂利の採取 場所又は購入先				

### 3 採取（洗浄）の期間

- (1) 年 月 日から 年 月 日まで（認可の日から 年間）
- (2) 当該採取場の採取終了予定年月日 年 月頃

4 砂利採取（洗浄）の方法及び採取（洗浄）のための設備その他施設に関する事項

【採取】

(1)採掘手段							
陸・山砂利	ア	手掘	イ	機械掘	海砂利	ウ エ	サンドポンプ型式 グラブバケット形式
(2)採取に使用する機械（船舶）＜(1)がア以外の場合に記入すること＞							
機械の名称・型式				能力		台数	
(3)運搬に使用する機械（船舶） ＜船舶については、船名をすべて記載し、能力等は作業行程予定表に記入すること。＞							
機械（船舶）の名称		積載能力（t）		台（隻）数		場外併用の台数	

【洗浄】

(1)洗浄のための設備							
機械の名称・型式	能力 (m <sup>3</sup> /h)	取水方法	取水箇所	取水量 (m <sup>3</sup> /h)	使用水量 (m <sup>3</sup> /h)		
		ア ホプアップ イ 導水路 ウ 循環式 エ その他 ( )	ア 河川水 イ 地下水 ウ その他 ( )		うち循環 使用水量  m <sup>3</sup> /h		
(2)その他の機械＜運搬や積込みに使用する機械を記入すること。＞							
機械の名称・型式				能力		台数	

5 砂利の採取(洗浄)に伴う災害等の防止のための方法及び施設に関する事項

(1) 陸上の作業における人身事故(労災事故を除く。)等の防止方法及び海上作業における安全対策について

(2) 土地の崩壊、亀裂又は陥没の防止措置（陸・山砂利の場合に記入すること。）

表土の除去方法及び 除去した表土の処理 方 法	
掘 削 中 の 状 況	【陸砂利】保安距離( ) m) 掘削深( ) m) 掘削勾配(1 : )
	【山砂利】保安距離( ) m) 階段高( ) m) 階段幅( ) m) 法面勾配(1 : ) 階段数( ) 段)

安定勾配よりも急な勾配で掘削切土する場合における土砂崩れ等防止措置	当該砂利質における安定勾配 ( 1 : )

(3) 騒音・振動災害防止措置

騒音規制法又は振動規制法に基づく指定地域の該当の有無 ( 有 ・ 無 )	
特定施設の有無 ( 有 ・ 無 )	特定施設の名称・数 (別添フローチャートにより説明)
防 止 措 置	

(4) 飛散防止措置 (陸・山砂利・洗浄の場合に記入すること。)

採取(洗浄)した砂利の山(野)積みの有無 ( 有 ・ 無 )	山(野)積容積	m <sup>3</sup>
	面 積	m <sup>2</sup>
	高 さ	m
防 止 措 置		

(5) 汚濁水等の流出防止措置 (陸・山砂利・洗浄の場合に記入すること。)

場内水集排水施設の有無 ( 有 ・ 無 )	集排水路の整備概要 (構造、規模及び総延長)	
	位置及び能力	別添の平面図及び計算書に記載し説明する。
場内汚濁水処理施設の有無 ( 有 ・ 無 )	処理施設の概要 (構造・数量・処理容量)	
	位置及び能力	別添の平面図及び計算書に記載し説明する。
	処 理 方 法	自然沈降 ・ 薬品沈降
	使 用 薬 品 名	
	薬品使用量 ( t / h )	

(6) 沈殿物(ヘドロ)の処理の方法 (陸・山砂利・洗浄の場合に記入すること。)

乾 燥 方 法	天日乾燥 ・ 人工乾燥 ・ 未乾燥 ・ その他 ( )		
処 理 実 施 場 所 及 び 流 出 防 止 措 置		堆積又は投棄する場所	

(7) 採取(洗浄)した砂利等の運搬に伴う措置

運 搬 実 施 者	申請者	%	第三者	%
砂 利 の 運 搬 方 法	手 段		能力及び台(隻)数	
道 路 、 海 面 等 の 汚 染 防 止 措 置				
1日の平均搬出量	製 品	m <sup>3</sup>	表土等	m <sup>3</sup>

(8) 採取跡の処理方法（陸・山砂利の場合に記入すること。）

【陸砂利】

場内埋戻しの有無（有・無）		埋戻し用土砂の数量	m <sup>3</sup>
埋戻しの方法			
埋戻し用土砂の調達方法		1 場内表土等の利用 2 自社採石場からの搬入 3 他社採石場で購入 4 その他（ ）	
採石業者			
岩石採取場所在地			
岩石名称			
認可期間			
採取終了時の措置等		災害防止措置	ア 集排水路整備 イ 芝生吹付け ウ その他（ ）
		跡地利用	ア 農地に復元 イ 植樹（林地復元） ウ 宅地等に造成 エ その他（ ）

【山砂利】

採取切羽	階段高（ m）、階段幅（ m）、平均傾斜（1： ）		
	災害防止措置	ア コンクリート支持工 イ 土留階段工 ウ 集排水縦溝・横溝 エ セメント吹付け オ 芝草吹付け カ 植樹	
採取終了時の措置等	災害防止措置	ア 集排水路整備 イ 芝生吹付け ウ その他（ ）	
	跡地利用	ア 農地に復元 イ 植樹（林地復元） ウ 宅地等に造成 エ その他（ ）	

6 採取（洗浄）した砂利の水切りの方法及び設備その他施設に関する事項

水切りの方法	ア 自然抜水（堆積日数 日） イ 強制抜水（設備名 、能力 、台数 台）
水切りを行う場所（海砂利のみ記入）	
廃水の処理方法	

- (備考) 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
2 ×印の欄は、記載しないこと。

7 添付図書の一覧表

整理 番号	区 分  添付図書の名称	認 可 申 請			変 更 認 可 申 請			
		陸・山	海	洗浄	砂利採取場の区域	採取する砂利の種類及 び数量並びに期間	砂利の採取の方法及び 採取のための設備その 他の施設に関する事項	砂利の採取に伴う災害 の防止のための方法及 び施設に関する事項
1	砂利採取業務主任者監督計画書	有・無	有・無	有・無				有・無
2	作業工程予定表		有・無					有・無
3	当該土地で申請者が砂利採取（洗浄）を行うこと について権原を有することを証す書面（土地 の登記簿謄本、契約書、承諾書等）	有・無		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
4	砂利採取船の国籍証書及び検査証書の写し		有・無		有・無	有・無	有・無	有・無
5	内航海運業法に係る 運輸局の許認可証の写し		有・無		有・無	有・無	有・無	有・無
6	自己所有以外の船舶の使用について、使用する 権原を有することを証す書面 （運行委託契約書の写し等）		有・無		有・無	有・無	有・無	有・無
7	漁業権者の同意書		有・無		有・無	有・無	有・無	有・無
8	他の法令の規制がある場合は、当該処分を受け ていることを証する書面又は受ける見込みに関 する書面	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
9	埋め戻し確約書及び埋め戻し用の土砂が確保さ れていることを証する書面	有・無			有・無			有・無
10	位置図（縮尺 1/50, 000）	有・無	有・無	有・無	有・無			
11	見取図	有・無	有・無	有・無	有・無			有・無
12	実測平面図	有・無	有・無		有・無	有・無	有・無	有・無
13	求積図	有・無	有・無		有・無	有・無		
14	実測縦・横断面図	有・無	有・無		有・無	有・無		有・無
15	災害防止施設等設計書 （汚濁水処理施設及びピードロ処理計画）			有・無				有・無
16	運搬経路図	有・無		有・無	有・無	有・無		有・無
17	地番・境界を示す図面（分限図・地籍図等）	有・無		有・無	有・無			有・無



## 海砂利採取管理・監督計画書

1 砂利採取場を管理する事務所の名称、所在地及び砂利採取業務主任者住所氏名

事務所	名称		電話番号		
	所在地				
事務所に置く業務主任者	住所	氏名	砂利採取業務主任者資格番号	採取計画参加の有無	乗船監督の有無
			県第 号		
			県第 号		
			県第 号		
			県第 号		
			県第 号		

2 砂利採取業務主任者の配置及び現場監督計画

採取船名	持船・備船の別	乗船する砂利採取業務主任者氏名	資格番号	乗船地	降船地	備考
	持・備		県第 号			採取中は常時乗船
	持・備		県第 号			"
	持・備		県第 号			"
	持・備		県第 号			"
砂利採取作業時間		時 分から 時 分まで				

3 監督上特に留意すること

- (1) 日常業務における留意事項
  
- (2) 従事者に対する災害防止教育の方法
  
- (3) (ア) 災害が発生し、又は発生するおそれが生じた場合の対策及び措置
  - (イ) (ア)の場合における緊急連絡体制

# 作業工程予定表

申請者

1 採取運搬船の機能

採取運搬船名					
船長名					
総屯数 (t)					
積載能力 (m <sup>3</sup> )					
機関能力 (PS)					
満船時速力 (Knot)					
空船時速力 (Knot)					
バケット容量 (m <sup>3</sup> )					
採取能力 (m <sup>3</sup> )					
標準浚渫深度 (m)					
最大浚渫深度 (m)					
運搬先					
備考					

2 採取時間の根基

(イ)	船舶停泊地から採取地までの航行距離及び所要時間	
(ロ)	満船するまでの採取所要時間	
(ハ)	採取地より荷揚地までの航行距離及び所要時間	
(ニ)	荷揚所要時間	
(ホ)	荷揚地から停泊地までの航行距離及び所要時間 (一般海所要時間)	
(ヘ)	採取船の稼働率  何航海/日  何日/月	
(ト)	稼働日数の産出根基	

(注) 運搬専用船を使用する場合は、第2欄の(イ)～(ホ)は運搬専用船についても記載すること。

なお、その際には、船名、積載能力、速力、機関能力も記載のこと。